

梅棹忠夫 うめぞと ちかお 文化人類學者、理學博士。大正九年六月十三日京都
市生れ、平成二十一年七月二日没（一九二〇—二〇一〇）。昭和十八年京都帝
國大學理學部動物學科卒。京大人文科學研究所教授を経て、四十九年
国立民族学博物館館長。この間世界各地の探検調査を基に幅廣く文明
評論を展開。平成六年文化勳章受章。

著書に『モゴール族探検記』（昭和二十一年九月十七日岩波書店「岩
波新書」）、『東南アジア紀行』（昭和二十九年五月二十一日中央公
論社）、『サバンナの記録』（昭和四十年十一月一日朝日新聞社）、
『討論「日本探究」—外国人の日本研究』（昭和六十一年五月二十五
日講談社）、『博物館長の十年—国立民族学博物館の記録』（昭和六
十二年十月二十一日平凡社）、『あすの日本語のため』（昭和六十
一年十一月七日くもん出版）、『夜はまだあけぬか』（平成元年十一
月十日講談社）等。

